



仕事も生活もバランス感覚が大切 社会の明暗も大切に受け止めたい

株式会社 あいたや 中屋
代表取締役 藤貴之さん



課題発見、仮説、検証のプロセスから さまざまな道筋を提案する

株式会社中屋では、ウェブサイトの作成や活用に伴うウェブマーケティングを手がける「remacre(リマケ)」と、子どもを対象とするロボット・プログラミング教室「robotec(ロボテック)」の2つの事業を展開しています。

インターネットをビジネスで活用する場合、ウェブサイトの作成やオンラインショップの構築などの方法がありますが、作成して終わりではなくその先が重要です。私たちは依頼の背景や目的を理解したうえで、ウェブサイトへのアクセス数の目標値を定め、定点観測をしながら分析・提案を行っていきます。このとき最も大切なことは、さまざまな仮説を立てて検証することです。ウェブマーケティングでは、どのようにアクセスして、どの

ページを見たかというデータをもとに数字だけでは見えにくい利用者のニーズを拾い、仮説を立て検証していく



という地道な作業が重要となります。

その仮説を立てる力を育むのに最も適していると考えたのがロボット・プログラミング教室です。ロボットを目的どおりに動かすためには多様なアプローチがあり、正解は一つではなく、さまざまな仮説が考えられます。実際にロボットを動かしてみることで仮説を検証することができ、それを繰り返すことで仮説を立てる力を育むことができます。



プロスポーツの道を目指した学生時代 ウェブとの出会いで進路を転換

昔からウェブマーケティングやプログラミングの道に進もうと決めていたわけではありませんでした。高校卒業後はウィンタースポーツのプロを目指し、ウィンタースポーツの専門学校で同じ目標をもつ仲間とスポーツに没頭していました。プロを目指す中でプロとアマチュアの差はなんだろうと考えたときに、どれだけお金をもらえるかではなく、どれだけ一つのことに没頭できるかということだと思い至りました。これは今でも私にとって重要な指標となっています。

その後24歳で進路を転換し、ウェブ制作会社に入社しました。入社当初は知識や技術がなかったため、ウェブの世界に没頭し、パソコンと向き合いながら仕事に必要な知識や技術を習得しました。その後、別のウェブ制作会社に転職してフラッシュの制作やディレクションを十数年間手がけました。ありがたいことに大手企業との仕事の機会も得られ、さまざまな経験を積むことができました。しかし、ウェブ制作会社はウェブマーケティングにはいかにせん弱く感じていました。そこで、ウェブ解析士の資格を取得していた私は、自らウェブマーケティングも行いインターネットを利用した売れる仕組みづくりを提供できるウェブ制作会社を開業しようと思い立ち、信用保証協会さんの支援もあり創業することができました。

バランスを取ることの大切さ

長く続く企業を目指す

「中屋」という社名は、「間」にあって極端に走らず、バランスを取ることを大切にしたいという、私の考えから名付けました。多様性を認めながら、長く続く会社を目指していきたいです。今後はロボット・プログラミング教室のフランチャイズ化を視野に入れ、当社の事業を発展させたいと考えています。また、現在拝命している栃木県よろず支援拠点でのコーディネーターの仕事にも取り組み、バランスを大切にしながら県内の中小企業が継続的に成長できるよう応援していきたいです。



INFORMATION

株式会社中屋

代表取締役：藤 貴之
創業：2018年9月

〒320-0027
栃木県宇都宮市
埴田5-2-44
Tel.028-680-5260
remacre(リメイク)
Tel.028-348-0497
robotec(ロボテック)
<https://aidaya.co>

